



(I) 第二次世界大戦の終結と冷戦

資本主義陣営 (西側諸国)

社会主義陣営 (東側諸国)

【冷戦成立期／1940年代】なぜ冷戦が起きてしまったのか

1945.2^[1]] (英: チャーチル 米: F.ローズベルト ソ: スターリン)

→戦後の世界や、国連の創設についての話し合いだったが、
ヨーロッパ支配をめぐり、米・英とソ連が激しく対立【冷戦の始まり】



★冷戦とは

米国を中心とする西側諸国(資本主義陣営)とソ連を中心とする東側諸国(社会主義陣営)が
政治的、経済的、軍事的対立。両者が直接戦闘(=熱戦)せずに対立が続いたため、冷戦と呼ばれている。

1946

英: チャーチル首相^[2]

」演説

欧州大陸には鉄のカーテンが
降ろされている。
向こうはソ連の勢力圏内だ。
東西分裂を象徴する言葉に



・スターリンは東欧を支援して、社会主義の拡大を狙う
・元々不信感のあったソ連は、鉄のカーテン演説で
緊張感を加速させていく

セットで暗記!

1940年代後半

それぞれの面で対立軸を形成していく → 両者の対立が決定的なものへ

西側陣営		東側陣営
1947 ³ 共産主義封じ込め政策	政治面	1947 ⁴ 東欧各国の共産党協力機関
1947 ⁵ 米国が西欧諸国への経済援助	経済面	1949 ⁶ ソ連が東欧諸国への経済援助
1949 ⁷ 北大西洋条約機構	軍事面	1955 ⁸ ワルシャワ条約機構

【冷戦雪解け期／1950年代】話し合い外交により平和共存路線へ

1950



9

発端 北朝鮮が韓国侵攻 [] → 米国が支援 [] → ソ・中が支援
→ 北緯 38° 線を休戦ラインとし、**1953年に朝鮮戦争休戦協定**

1945



インドシナ戦争

発端 独立したベトナム民主共和国に仏が介入 **雪解け・平和共存の方向性**
→ 1954 ジュネーブ休戦協定 → 1955^[10]]会談 (米ソ英仏)

1956

ソ: フルシチョフ書記長「スターリン批判」
冷戦成立期の頃の専制政治を批判
→ アメリカと仲直りの兆し

1959

米ソ首脳会談 アメリカ (アイゼンハワー) × ソ連 (フルシチョフ) による 話し合い外交。
→ 両者の関係は徐々に改善の方向へ! かと思われたが...

(Ⅱ) 平和共存と多極化

【多極化期／1960年代】核戦争の危機＋第三勢力の登場		
資本主義陣営（西側諸国）	社会主義陣営（東側諸国）	第三世界
✂ 1962 ^[11]] 米ソ“核戦争”寸前の恐怖 原因 ソ連がキューバにミサイル基地の建設開始 →米：ケネディ大統領が海上封鎖 →ソ：フルシチョフが譲歩、基地撤去を通告  どちらが核のボタンを押してもおかしくない… 一触即発状態		1954 周・ネルー会談 1955 アジア・アフリカ会議 1960 ^[13]]の年 →独立が相次ぐ(17カ国) 1961 第一回非同盟諸国首脳会議 1964 第一回国連貿易開発会議 (UNCTAD)
✂ 1965 ^[12]] 戦争本格化 南北に分断していたベトナム。1965年は米国による北爆が始まった年 構図 南を支持する米・仏 vs 北を支持するソ連・中国		
1966 ^[14]] : NATO 軍を脱退 ★この頃、アメリカ一強だった経済も三極化 (米国・EC・日本) やや弱体化 1967 発足 西側2位のGNP 米中の接近 ⇄	1968 ^[15]] チェコで発生した民主化運動 →ソ連が武力制圧 1972 中ソ対立を受け、ニクソン訪中 1979 米中国交正常化	
【1970年代前半】デタント(緊張緩和)が進む → 【1970年代後半～】新冷戦／米ソは再び関係は緊張状態		
1983 米：^[16]] 構想 =宇宙からのミサイル迎撃システム	1979 ソ^[17]] 侵攻開始 →これにより米との軍縮交渉は停止	1979 イラン革命→反米政権誕生 →第二次オイルショック

(Ⅲ) 冷戦の終結

資本主義陣営（西側諸国）	社会主義陣営（東側諸国）
【冷戦終結期／1980年代後半】	
新しい米ソ外交を目指す！ 冷戦の象徴が崩壊(1989)  ハンガリー・ポーランド ルーマニア・ベルリンの壁崩壊	
	1985 ソ：ゴルバチョフが書記長に就任 ^[18]] : 民主化改革、西側との協調 ① ペレストロイカ (改革) ② グラスノスチ (情報公開) 1989 東欧の民主化 : 東欧諸国の共産党支配が崩壊 1989 ^[20]] : 中国国内で発生した学生による民主化デモ←政府が弾圧 1989.11.9 ベルリンの壁崩壊
1989.12 ^[21]] 会談 アメリカ (ブッシュ) × ソ連 (ゴルバチョフ) による会談 → 冷戦の終結 冷戦は「ヤルタ」から「マルタ」 1990 東西ドイツ統一	
【1990年代～】東西冷戦は終結したものの、米ソの陰に隠れ燦っていた民族紛争が各地で激化	
1991 ^[22]] 米国を中心とする多国籍軍がイラクを武力制裁 2001 アメリカ同時多発テロ 2003 イラク戦争 近年 パレスチナ・イスラエル問題	1991 WTO、COMECON 解散 1991 ソ連解体→^[23]] (CIS) 誕生 1991-95 ^[24]] 内戦 1998 コソボ紛争 1991-97 チェチェン紛争 2022- ウクライナ侵攻



(I) 第二次世界大戦の終結と冷戦

資本主義陣営 (西側諸国)

社会主義陣営 (東側諸国)

【冷戦成立期／1940年代】なぜ冷戦が起きてしまったのか

1945.2^[1] **ヤルタ会談** (英: **チャーチル** 米: **F.ローズベルト** ソ: **スターリン**)→戦後の世界や、国連の創設についての話し合いだったが、
ヨーロッパ支配をめぐり、米・英とソ連が激しく対立【冷戦の始まり】

★冷戦とは

米国を中心とする西側諸国(資本主義陣営)とソ連を中心とする東側諸国(社会主義陣営)が
政治的、経済的、軍事的対立。両者が直接戦闘(=熱戦)せずに対立が続いたため、冷戦と呼ばれている。

1946

英: **チャーチル**首相^[2] **鉄のカーテン** 演説欧州大陸には鉄のカーテンが
降ろされている。
向こうはソ連の勢力圏内だ。
東西分裂を象徴する言葉に・スターリンは東欧を支援して、社会主義の拡大を狙う
・元々不信感のあったソ連は、鉄のカーテン演説で
緊張感を加速させていく

セットで暗記!

1940年代後半

それぞれの面で対立軸を形成していく → 両者の対立が決定的なものへ

西側陣営			東側陣営	
1947	3 トルーマン・ドクトリン 共産主義封じ込め政策	政治面	1947	4 コミンフォルム 東欧各国の共産党協力機関
1947	5 マーシャル・プラン 米国が西欧諸国への経済援助		1949	6 COMECON(COMECON) ソ連が東欧諸国への経済援助
1949	7 NATO 北大西洋条約機構	軍事面	1955	8 WTO ワルシャワ条約機構

【冷戦雪解け期／1950年代】話し合い外交により平和共存路線へ

1950



朝鮮戦争

発端 北朝鮮が韓国侵攻 [**韓国**] → 米国が支援 [**北朝鮮**] → ソ・中が支援
→ 北緯 38° 線を休戦ラインとし、1953年に朝鮮戦争休戦協定

1945



インドシナ戦争

発端 独立したベトナム民主共和国に仏が介入 **雪解け・平和共存の方向性**
→ 1954 ジュネーブ休戦協定 → 1955^[10] **ジュネーブ四巨頭**会談 (米ソ英仏)

1956

ソ: **フルシチョフ**書記長「スターリン批判」
冷戦成立期の頃の専制政治を批判
→ アメリカと仲直りの兆し

1959

米ソ首脳会談 アメリカ (**アイゼンハワー**) × ソ連 (**フルシチョフ**) による話し合い外交。
→ 両者の関係は徐々に改善の方向へ! かと思われたが...

(Ⅱ) 平和共存と多極化

【多極化期／1960年代】核戦争の危機＋第三勢力の登場		
資本主義陣営（西側諸国）	社会主義陣営（東側諸国）	第三世界
 1962 ^[11] キューバ危機] 米ソ“核戦争”寸前の恐怖 原因 ソ連がキューバにミサイル基地の建設開始 →米：ケネディ大統領が海上封鎖 →ソ：フルシチョフが譲歩、基地撤去を通告  どちらが核のボタンを押してもおかしくない… 一触即発状態		1954 周・ネルー会談 1955 アジア・アフリカ会議 1960 ^[13] アフリカ]の年 →独立が相次ぐ(17カ国) 1961 第一回非同盟諸国首脳会議 1964 第一回国連貿易開発会議 (UNCTAD)
	 1965 ^[12] ベトナム]戦争本格化 南北に分断していたベトナム。1965年は米国による北爆が始まった年 構図 南を支持する米・仏 vs 北を支持するソ連・中国	
1966 ^[14] フランス]：NATO軍を脱退 ★この頃、アメリカ一強だった経済も三極化（米国・EC・日本） やや弱体化 1967発足 西側2位のGNP 米中の接近 ⇄	1968 ^[15] プラハの春] チェコで発生した民主化運動 →ソ連が武力制圧 1972 中ソ対立を受け、ニクソン訪中 1979 米中国交正常化	
【1970年代前半】デタント(緊張緩和)が進む → 【1970年代後半～】新冷戦／米ソは再び関係は緊張状態		
1983 米： ^[16] SDI]構想 =宇宙からのミサイル迎撃システム	1979 ソ ^[17] アフガニスタン]侵攻開始 →これにより米との軍縮交渉は停止	1979 イラン革命 →反米政権誕生 →第二次オイルショック

(Ⅲ) 冷戦の終結

資本主義陣営（西側諸国）	社会主義陣営（東側諸国）
【冷戦終結期／1980年代後半】	
新しい米ソ外交を目指す！  冷戦の象徴が崩壊(1989)  ハンガリー・ポーランド ルーマニア・ベルリンの壁崩壊	1985 ソ： ゴルバチョフ が書記長に就任 ^[18] 新思考外交]：民主化改革、西側との協調 ① ペレストロイカ (改革) ② グラスノスチ (情報公開) 1989 東欧の民主化 ：東欧諸国の共産党支配が崩壊 1989 ^[20] 天安門事件]：中国国内で発生した学生による民主化デモ←政府が弾圧 1989.11.9 ベルリンの壁崩壊
1989.12 ^[21] マルタ]会談 アメリカ(ブッシュ)×ソ連(ゴルバチョフ)による会談 → 冷戦の終結 冷戦は「ヤルタ」から「マルタ」	1990 東西ドイツ統一
【1990年代～】東西冷戦は終結したものの、米ソの陰に隠れ燦っていた民族紛争が各地で激化	
1991 ^[22] 湾岸戦争] 米国を中心とする多国籍軍がイラクを武力制裁 2001 アメリカ同時多発テロ 2003 イラク戦争 近年 パレスチナ・イスラエル問題	1991 WTO、COMECON 解散 1991 ソ連解体→ ^[23] 独立国家共同体](CIS)誕生 1991-95 ^[24] 旧ユーゴスラビア]内戦 1998 コソボ紛争 1991-97 チェチェン紛争 2022- ウクライナ侵攻